

常識破りの全枚異柄！「七十二候一筆箋」発売 ～フセン以上手紙未満。季節感を演出できる一筆箋～

株式会社淡交社(本社:京都市北区)は、季節のうつろいを知らせる七十二候を組み込んだ「七十二候一筆箋」を2016年4月5日から販売開始いたしました。

>「七十二候一筆箋」 http://www.hanare.tankosha.co.jp/products/detail.php?product_id=2119

■開発の背景

当社は茶道裏千家の出版社として、茶道雑誌や茶道書の出版を主に行ってきました。季節感を大切にする茶道に携わる企業として、現代の生活にも使いやすい季節感ある商品を提案できないかと模索し、七十二候にたどりつきました。

古代中国でつくられた二十四節気をさらに細かく分けた七十二候は、約5日ごとに候が替わり、気象や草花、虫や鳥などの変化から季節のうつりかわりをこまやかに知らせてくれます。

この情報をさりげなく届けるためのフォーマットとして考えたのが「一筆箋」です。付箋では軽すぎるが、便箋にしたためのほどのかしこまった内容ではないというとき、一筆箋は重宝します。「付箋以上手紙未満」である一筆箋は、現代の日常生活にも取り入れられやすい適度な「重さ」があるコミュニケーションツールであると考えました。

この一筆箋に七十二候の情報を載せることで、メッセージとともに季節感もお届けすることが出来るのではないかと思います。開発に至りました。

■「七十二候一筆箋」の特長

1.全枚異なる内容

候の説明はもちろん、候に沿った内容のイラストを1枚1枚入れています。七十二候を春夏秋冬の四つに分け、各季18枚つづりしました。従って、つづられている一筆箋は全て異柄という、通常の一筆箋では考えられない手の込んだ仕様になっています。



2.西暦にも対応

七十二候は旧暦ですが、使いやすさを考えて各候に対応する西暦日付(目安)を併記しています。



■「七十二候一筆箋」の概要

名称 : 七十二候一筆箋
 発売開始日 : 2016年4月5日
 販売価格 : 400円(税抜)
 サイズ : 縦190mm×横82mm
 種類 : 春(立春～立夏前)、夏(立夏～立秋前)、秋(立秋～立冬前)、冬(立冬～立春前)
 内容 : 各18枚つづり

■会社概要

商号 : 株式会社 淡交社
 所在地 : 〒603-8588 京都市北区堀川通鞍馬口上ル
 設立 : 1949年1月
 事業内容 : 出版業、小売業、建設業、旅行業
 資本金 : 4,800万円
 URL : <http://www.tankosha.co.jp>



■本件に関するお問い合わせ先

企業名 : 株式会社 淡交社(たんこうしゃ)
 担当者名 : 太田
 TEL : 075-432-5155
 Email : hanare@tankosha.co.jp